



秋元 圭吾（あきもと けいご）

昭和 45 年生まれ。平成 11 年 横浜国立大学大学院工学研究科博士課程修了。工学博士。平成 11 年 財団法人 地球環境産業技術研究機構 入所、研究員。主任研究員を経て、平成 19 年、同 システム研究グループリーダー・副主席研究員、平成 24 年 11 月、同 グループリーダー・主席研究員、現在に至る。平成 18 年 国際応用システム分析研究所 (IIASA) 客員研究員。平成 22 年～26 年度 東京大学大学院総合文化研究科客員教授、平成 24～令和 2 年 日本学術会議連携会員、令和 4 年 11 月～東京工業大学科学技術創成研究院特任教授。IPCC 第 5 次および 6 次評価報告書代表執筆者。総合資源エネルギー調査会 基本政策分科会委員、同 電力・ガス事業分科会 電力・ガス基本政策小委員会委員、経済産業省 調達価格等算定委員会委員、中央環境審議会 地球環境部会 気候変動影響評価等小委員会委員など、政府の各種委員会委員も務めている。エネルギー・環境を対象とするシステム工学が専門。著書として、「低炭素エコノミー—温暖化対策目標と国民負担」、「Climate Change Mitigation—A Balanced Approach to Climate Change」、「温暖化とエネルギー」、「Towards a Workable and Effective Climate Regime」（いずれも分担執筆）など。1997 年 IIASA より Peccei 賞、2004 年エネルギー・資源学会より茅奨励賞など受賞